

# 旭川医大病院ニュース

# 医療監視行われる。



(午前) 書類検査

昭和五八年度医療監視が、去る一月二三日(月)に実施されました。

「医療監視」とは、医療法第二五条に基づく「保健所の立ち入り検査」のことを指し、本院も毎年一回この検査を受けています。

当日は旭川保健所から所長ほか九名の監視員が来院し、管理班・診療班・給食班の三班に分れ、午前十時から病院会議室において書類検査が行われました。

特に今回は昨今のホテル火災、士別市の産科診療所における乳児死亡事故を反映して、防火避難訓練及び災害対策について、詳しい検査を受けました。



(午後) 立入検査・給食係厨房 (説明しているのは調理員副主任井上さんです)

午後からは、前記の三班により、各々の検査項目に従って、八階・九階ナースステーション、薬剤部、防災センター、給食係、エネルギーセンター等各所において立ち入り検査が行われました。

最後の講評では、「指摘事項なし」との評価を受けましたが、検討事項として、一、麻薬施用の際には確実に診療記録に記載すること。

二、総合消防訓練の実施並びに冬期間における避難経路及び避難場所を確保すること。

以上の二点が求められました。

題字は吉岡病院長

〔編集〕

旭川医科大学医学部附属病院広報誌編集委員会

委員長 並木教授(三内)

## 御意見箱から

他の病院に比べて、薬の出来るのが非常に遅いという苦情がいくつもあった。今日も一時間四五分かかったとか、その都度所要時間をみている患者もいる。もちろん薬局はそれなりに努力をばらっているし、いろいろな事情もあろう。実際のところ、薬局へたどりつくまでに、各科で待たされた腹だちが、最後の過程である薬局へ向けられている可能性もある。薬局ばかり

りせめられるのは気の毒だ。要は患者が待たされても、あまり腹がたたないような対応の仕方を、各職場の職員は常に心がける必要がある。それは思いやりのあるちよつとした一言で事足りる場合も多いと思う。

いまひとつ、「再診の受付で大きな声で「今日では神経科ですな」と言うのをやめてほしい。まわりの人がいっせいにこちらをみつめている。神経科にかかっている人は、みな人に知られたくないのです。あまりにも無神経です」という投書が

## 脱!!電池公害

有害物質の水銀を含んでいる電池公害を防止いたしたく、当病院で使用された使用済み乾電池の回収を始めることになりました。

回収する乾電池はボタン電池をはじめアルカリ・マンガン電池などすべてのものを対象としておりますので、お手数でも会計課用度第二係まで御持参ください。以上よろしく御協力願います。



〔詳細〕会計課用度第二係 (内線 三二四七)

## 外来駐車場について

本院には一八三台収容の外來駐車場がありますが、時には満車となり、来院した患者さんが駐車出来ず、不便をかける場合があります。また、こうした駐車場に駐車できなかつた自動車やむを得ず路上駐車をすることとなり、毎日来る重油タンクローリー・大型ゴミ収集車等の大型自動車や緊急自動車の通行に障害を与えております。

ついては、職員におかれましては、患者さんの路上駐車への誘因となる外來駐車場への駐車は厳に慎まれますよう、御協力をお願いします。

庶務課

## 人事異動

- 〔採用〕
  - 麻酔科学講座助手 藤田 力
- 〔辞職〕
  - 麻酔科学講座助手 苫米地正之 (59・1・31付)
- 〔配置換〕
  - 麻酔科助手→外科学第一講座助手 横山 康弘 (59・1・16付)
  - 放射線科助手→皮膚科助手 筒井 真人 (59・2・20付)

あった。日本の場合、精神科、神経科を受診するといふのは、今日でもなお往々にしてこの患者のような気持ちを抱いたのが現状である。医療にたずさわるものは、事務職員も含めて、すべてが患者心理をよく理解し、事に当たるときであると思う。むずかしいことを言っているのではない。わが身にふりかえって、ひとの心をくみとって患者に接してほしいということである。

(ポブラ)

\* \* \*

### 放射線部を内外からみる

かねがね、病院の診療レベルをみるには、放射線部をひとまわりすれば判るものと思っている。自分が放射線科医ということもあるが、一日居らせて貰えば機械の有様、診療のシステムのみならず、働いている医師、技師、看護婦の織りなす綾があり、模様は夫々に違ふ。

放射線科診療は医師、技師、看護婦が一体となり、心の通った業務を行い、こ

### 外来メツセンジャー

白いユニフォームに水色の帽子とエプロン、カルテやファイルをかかえ、いつも院内を小走りし急ぐ姿が外来メツセンジャーである。六時間パートが三名、八時二〇分～一五時、九時～一五時三〇分、九時三〇分～一六時の時間帯で勤務。この他看護助手パートが昼休み三〇分と一五時～一七時の二時間を応援している。業務内容は各科外来と病院各部門間の連絡運搬に関する事で、外来診療を進める上に欠く事の出来ないものである。予約患者のカルテを各科に配布するの朝一番の仕事で、その後次々出されるカルテの配布及

### 病院で働く人々 (2)

び回収、X P の受領配布、検体提出、薬品運搬洗濯物提出、材料部からの滅菌物配布返納、用度の消耗品等々運ぶ物も多種であり、院内の殆どの部門に関係している。動線は実に長く、昨年の万歩計による調査でも一四、五〇〇～二四、七〇〇歩/六時間であった。約一〇km以上は歩いていることになる。メツセンジャーは常時次々とまわっているのだが、この体制がスタートした五三年度に比べ外来患者数も一日平均で一・六倍と増加しているため、限られた人数でカバー出来ない面は今後とも各科各部門の御協力をお願いしたい。

看護部 増岡 滋子

### 新薬紹介 (1)

#### 『シスプラチン』

本剤は白金原子を含む無機錯化合物で、作用機序はDNAの二重鎖中に橋状結合を形成し、DNA合成阻害をあらわすものでアルキル化剤と類似する作用機序が考えられている。効能・効果は睾丸腫瘍、膀胱癌、腎盂・尿管腫瘍、前立腺癌、卵巣癌。投与方法として①15～20mg/m<sup>2</sup>/日、②5日/週、③25～35mg/m<sup>2</sup>/日、④3週毎、⑤1回/週、⑥1回/週が標準的用法。用量である。主な副作用として、腎障害は用量依存性で蓄積を起すので、腎毒性を軽減するために水分負荷を十分に行う必要がある。アミノグリコシド系抗生剤

### 検査部より (1)

検査申込票の氏名、ID番号、科名ははっきりと

各診療科から依頼された検査は、受付の段階でID番号、所属、項目等をそれぞれコンピュータに登録したり、台帳に記入したりするわけですが、ID番号・所属が不鮮明であることが多いことに気がきます。

ID番号が不鮮明なために、その都度医事課へ問い合わせをしたり、あるいは

所属が不明なために、数多い検体の中から探し出して確かめなければなりません。また、コンピュータ報告されないものにおいては、依頼伝票にデータを記入し、そのまま報告されるわけですから、報告の際には非常に困るわけです。

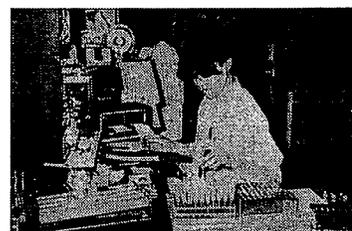
検査部側の登録間違いにおいても、もちろん気を付けなければなりません。各診療科においても不鮮明なID番号、所属等については、提出される前に、明確に書き添えて戴ければ、データが先行不明になった

所属が不明なために、数多い検体の中から探し出して確かめなければなりません。また、コンピュータ報告されないものにおいては、依頼伝票にデータを記入し、そのまま報告されるわけですから、報告の際には非常に困るわけです。

### 副作用情報 (1)

『抗生剤によるビタミンB<sub>12</sub>欠乏性低プロトロンビ血症』  
 ①欠乏症の発症要因として、①VK<sub>2</sub>の経口摂取障害、②VK<sub>2</sub>の吸収障害、③VK<sub>2</sub>産生腸内細菌の抑制によるVK<sub>2</sub>合成障害、④VK<sub>2</sub>の利用障害などがあり、特に抗生剤が関与するのは③④である。VK<sub>2</sub>欠乏症は種々の抗生剤投与後に報告されており、医原性疾患ともいわれている。特に胆汁中排泄の高い抗生剤で高用量投与時、あるいは腎機能障害があるときは低プロトロンビン血症発現の可能性が高いといわれている。VK<sub>2</sub>は肝ミクロゾームのP-450-Ca-

### 薬 剤 部



検査部 血液検査

検査部受付

Proxy glutamic acid (Gla) 生合成過程に関与するといわれ、VK<sub>2</sub>の欠乏によりGla生成が阻害され、そのため血液凝固因子が欠乏し出血傾向が発現するといわれている。最近 Lipsky は In Vitro <sup>3</sup>H-methyl-thio-tetrazole(MTT)を側鎖にもつ抗生剤ではグルタミン酸のメチルボキシル化を阻害することから、低プロトロンビン血症はこれら抗生剤の体内での分解で生じたMTTによるカルボキシル化の阻害によると報告している。抗生剤投与開始からVK<sub>2</sub>欠乏症状出現までの期間は術後や腎障害などの条件も加わり報告者により様々である。Dineoらなどは1週間という比較的短期間で発症したと報告している。

り、報告科名の間違いを防げるのではないかと思います。御協力をよろしくお願ひします。